

大宰帥 ださいのそち 大伴 おほともの 卿 まへつきみ の京 みやこ に上りし後に、  
筑 つくし のみちのしりのかみ かみ がぢのむらじ むらじ おほなり おほなり  
後 守葛井連大成の悲嘆 かなし びて作る歌一  
首

五七六番

今 いま よりは 城 き の山道 やまみち は さぶしけむ 我 わ が通 かよ はむ  
と 思 おも ひしものを

大納言 だいなごん 大伴 おほともの 卿 まへつきみ、  
新 あらた しき袍 うへのきぬ を撰津大夫 つづまへつきみ 高安 たかやすの

王 おほきみ に贈 たま へる歌一首

五七七番

我 あ が衣 ころも 人 ひと にな着 き せそ 網 あびき 引 ひ する 難 な 波 な をとこの  
手 て には触 ふ るとも

大伴宿禰 おほとものすくね 三依 みやより の別 わか れを悲 かな しぶる歌一首

五七八番

天地 あめつち と 共 とも に久 ひさ しく 住 す まはむと 思 おも ひてありし  
家 いへ の庭 には はも